

善循環の輪山形の集い in 長井

2009年7月11日(土)13:00~

長井市市民文化会館大ホール

【事例発表 概要】

7月11日(土)13時から、長井市市民文化会館大ホールで「善循環の輪・山形の集い」が開催されました。比嘉照夫教授の講話、沖縄照甞会クリニックの田中佳医師による講演、舟山やすえ参議院議員による来賓挨拶につづき、5つの事例発表がありました。概要を以下の通りご報告いたします。

1. 水質浄化 「エコ・いではの会」 大久保克彦さん(山形市)

EMのよさをもっと多くの人にアピールできる良い方法を模索していたところ、両所宮の池が汚れているとの話を聞き、平成20年から浄化に取り組むことになった。

浄化対象の鏡池は、1000平米、平均水深1m、容量約1000t。EM団子の投入から手掛け、氏子の方々の協力も得られるようになり、毎週120のEM発酵液を投入するようになった。底に溜まったヘドロの分解、落ち葉の体積などで、浄化は一進一退だが、比嘉教授の視察などで力を得、今年からは昨年の倍に当たる週200強のEM発酵液を投入している。

2. 畜産 「環境EM笹養豚場」 笹隆一さん(南陽市)

3.5haで水稻を栽培する側ら、300頭の豚を飼育している。平成17年、環境Uネットやまがた理事長の五十嵐さんが、私の養豚場が地域で一番くさいと言って堆肥小屋にEMを散布したことがきっかけとなり、臭気抑制にEMを活用するようになった。その後、青森県の川村養豚場を視察。オーナーの川村さんからは、EMは低コストで高い成果を引き出せる本物の技術、と勧めてくれ自信を深めた。

その後は、臭気抑制だけでなく飲水や飼料への添加も行うようになり、次第に豚の病気が減り肉質も向上してきた。

昨年は、EMの扱いに慣れてきたことによる気の緩みから、豚の状態が一次悪化してしまった。今後は慢心することなく、お客様に美味しいと喜んでいただける豚を育てていきたい。

3. 生涯学習 「白樺リサイクル会」 鈴木孝さん(飯豊町)

町内に5つある公民館のうち、白樺公民館に集う50~60代の婦人たち25名で結成。花いっぱい運動からはじまり、町共同調理場から出る廃油を用いた石けんづくり、ボカシづくりと試験農場での野菜栽培と活動が次々と拡大してきた。

試験農場で栽培した野菜は、共同調理場へ出荷し好評を得ている。野菜とともに石けんの評判も高く、昨年「食彩しろつばき」として店舗を開店し、自分たちの手作りの野菜や商品を楽しみながら販売している。

4．農業 「高橋農園」 高橋クニ子さん（東根市）

果樹王国東根市で、さくらんぼ、モモ、ラ・フランス、リンゴなど多品目の果樹と、水稲の栽培を行っている。極力農薬を使用しない栽培方法を模索する中で EM と出会い、15 年が経過した。

最初のうちは恐る恐る使うといった感じであったが、3 年前から環境 U ネットやまがたの技術指導もあり、本格的に EM を活用するようになった。

使用資材は、EM 活性液と EM ポカシを中心に、葉面散布には更に EM 石けんと EM7 を追加。まず、土がフカフカと軟らかくなったことに驚き、増収、果実の肥大と中身の充実、天候に左右されない樹勢など、次々と成果が現れている。

発表と同時に、高橋さんは、比嘉教授に質問。「一部、果実の肥大にバラつきがあるが、どう解決したらよいか？」との問いに対し比嘉教授は、「収穫してから休眠するまでの間に地力と樹勢を回復させなければいけない。収穫後、EM ポカシと EM セラミックパウダーをしっかりと土壤に施用するように」との指導があった。

5．波動 「波動研究家」 荒井一男さん（長井市）

フーチを使った波動測定とその研究に 15 年取り組んできた。2 年前に EM と出会い、その高波動に驚いている。

「低位の波動は高位の波動に従う」という基本原則に基づき、身体に悪い波動をもつ食品の波動矯正の方法などを紹介。

例えば、高熱処理した食品（揚げ物など）は、温度の低下と共に波動が悪くなり、20 分以上経過すると非常に劣悪な波動になるが、油をパイプ 35 などの EM セラミックスで処理すると、冷めてもほとんど波動が悪くならない。調味料などに予め「蘇生海塩 GOLD」を添加しておくと、調味料の波動が上がるだけでなく、その高波動が料理全体に行き渡る。塩を添加出来ない場合は、蘇生海塩 GOLD の上においておくだけで波動矯正ができる。

このように EM は、身体に悪い波動を良い波動に転換できる驚くべき可能性があるので、様々な商品を楽しんで活用し、健康生活を実践してみてもは、と提案した。